



2021~22年度 D-2700 No. 31 2022年6月3日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“奉仕しよう”

R I テーマ：“みんなの人生を豊かにするために”

R I 会長：シェカール・メータ 氏
(所属：インド、カルカッタ-マハナガル RC)

地区テーマ：“取り組もう 基盤強化と超我の奉仕”

地区ガバナー：貴 正義 氏(所属：福岡南 RC)
クラブテーマ：“原点回帰！ 魅力ある楽しいクラブへ”
～会員増強とインパクトのある奉仕～

会長 杣 巍／幹事 佐竹 信也



表紙写真(唐津城より唐津湾、鏡山、松浦川を臨む)

鶴城同窓会常任委員会出席の為、三年ぶりに唐津を訪れました。小、中、高校と 12 年間を唐津で過ごしました。写真手前の舞鶴橋は、昔は無くて、渡し舟で行き来していました。

【写真撮影：天ヶ瀬 洋正 会員／令和 4 年 5 月 22 日／唐津市にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野 2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：城 健一郎 副委員長：竹中 休義

委 員：久保田 彰、平野由太郎、藤澤 修司、安田堅太郎、伊藤 泰

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会 第3514回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700 のマーチ”
- ・クラブ協議会 No.1 (年間活動報告)

第3513回 例会 記録

5月27日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・地区研修・協議会報告

出席報告

濱田 委員

2021年7月1日：65名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ [°]	出席率
当日の出席	70名	34名	—	56.67%
先週の出席	70名	24名	36名	83.33% 修正後
◆ゲスト	0名			
◆ビジター	0名			

◆ゲスト 0名

◆ビジター 0名

ニコニコ献金

宮島 副 SAA

18,228 円 : 累計金額 325,228 円

親睦活動委員会

5月15日(日)の日帰り旅行の残りをニコニコします。

加藤 守夫 君

「若松バスハイク」に大勢の皆様がご参加下さり、本当にありがとうございました。お陰様で天気にも恵まれ、若松を味わい尽くす事が出来ました。



地区研修・協議会報告

「地区研修・協議会」

日 時：5月 21 日（土） 12 時～16 時 50 分

形 式：オンライン

◎会長部門

1. 西島次期ガバナーから

①会員全員のメールアドレス（マイロータリーのものと同じ）をクラブで一括管理

地区→各クラブ→会員

②吉田年度からガバナー一月信をデジタル化（西島年度はハイブリッド）

③地区大会を原則、福岡で開催

2. 古賀地区研修リーダーから

CLP（クラブリーダーシッププラン）の推進

3. 中村地区ロータリー財団委員長から

世界ポリオデー（10月 24 日）に合わせた寄付イベント開催のお願い

坪根 次年度会長



◎幹事部門

1. 第 2700 地区の会員増強

・地区の目標値 2023 年 7 月

1 日時点会員数 3400 名

※2022 年 2 月 1 日会員数

3111 名

・2023 年までにロータリー女性会員の割合を 30% にするという RI 理事会の目標を達成する努力をする。

・新クラブの結制促進。

新しく 2 クラブ設置

2. 地区が一体となった奉仕活動の計画、実施。

3. クラブ戦略（CLP）の策定実施

・2023 年までにロータリー女性会員の割合を 30% にするという RI 理事会の目標を達成に努力。

・クラブ会員維持方策と新会員育成方策の策定実施。

・DEI に対する推進活動。

4. 第 2700 地区の 5 ヶ年計画の着実な実施

・地区および委員会委員等へのロータークトの積極的活用。

・RLI の計画的実施及びロータリー財団と米山奨学会に対する寄付目標達成。

5. RI 事業への積極的参加

・国際大会への出席促進（メルボルン）

高山 次年度幹事



◎会員基盤向上部門

村上 次年度会員増強選考委員長、

佐竹 クラブ研修リーダー

1. 第 2700 地区会員基盤向上委員会委員長 鈴木公利氏（苅田 RC）より報告があった。

① 各クラブに「会員基盤向上に関する調査」実施
(4月末実施済)

2023 年 7 月 1 日 会員目標 3400 名

(2022 年 2 月 1 日 3111 名)

RI 会長エレクト ジェニファー E・ジョーンズ氏は初の女性 RI 会長

女性会員の割合を 30% にする理事会が定めた目標の達成（世界 24% 日本 7% 2700 地区 6, 21%）

② 上記調査を踏まえて「クラブ活性化セミナー」の開催（7月 23 日）

③ 「オープンロータリー例会」

入会候補者をクラブ例会に招待して、会員増強と公共イメージの向上を図る。

会員増強には「人の魅力」と「組織の魅力」が必要

2. クラブ運営支援委員会委員長（新設された委員会）吉行亮二（小倉南 RC）

クラブの長期計画作成に関して、「戦略立案ガイド」等の活用事例をもとに具体的な目標設定や活動計画作りの支援。

ロータリアンの活動と「DEI」の共通点を伝え、DEI の進展に取り組み、ロータリーの会員基盤を向上させ、よりインパクトを高める。

D (Diversity) 多様性

E (Equity) 公平さ

I (Inclusion) 摂性：ロータリーで最も近い
のは「寛容の精神」

DEI は「人間として自然に身につけ、行動せねばならないもの」

◎ロータリー情報部門

荒木 次年度ロータリー情報委員長

1. 2022 年 4 月に開催された規定審議会についての報告
ロータークターはロータリーの例会に参加できる。SRF (Shaping Rotary's Future) の試験プロジェクト開始。

RI への毎回の例会出席報告の廃止。

2. SRF (ロータリー未来形成) について

2018 年に RI に極秘に SRF 委員会が発足し、今年 4 月にパイロット立法案が採択され 7 月からオセアニア地区で試験プロジェクトが始まる。世界を文化や、言語圏を考慮して 28 地域に分け、各地域に 25 から 30 のクラブで構成される Section を置く。日本だと日本全体で一つの地域で、102 の Section を置く。Section は独自の賦課金は徴収できない。Regional Council は任期 3 年 Section Leader は任期 2 年で選挙により選ぶ。

3. My Rotary への登録を推進する。



RI のホームページからすぐに登録できる。公式発表等の情報を迅速に知ることができるし、ラーニング&参考資料が豊富にある。今年度に地区では 50% の登録をお願いする。

4. ロータリー情報の参考文献の紹介

当地区の廣畠元ガバナーと富田元ガバナーの著書を含めて 7 点の資料の紹介があった。

◎国際奉仕委員会部門

伊井 次年度国際奉仕委員長

第 2700 地区国際奉仕委員会委員長の白川勇一氏（壱岐 RC）より、「基本方針並びに事業計画」について以下の通り報告があった。

■基本方針

1. 国際奉仕プロジェクトの調整

- ・地区内クラブからのグローバル補助金使用のプロジェクトを積極的に推進するよう広報する。
- ・他地区（外国）からのジョイント申し込みがあった場合の窓口となる。
- ・地区内クラブに紹介すべきプロジェクト案は日本語に翻訳の上、地区内クラブに呼びかける。
- ・RC 以外の団体（青年会議所、ライオンズクラブ、ソロプチミストなど）との国際奉仕プロジェクトを調整し協力が必要な場合は窓口となる。
- ・国際奉仕、社会奉仕、ロータリー財団の合同委員会を年 2 回開催する。

2. 国際奉仕プロジェクトの推進

- ・クラブが実施する「地区補助金を使用しての国際奉仕プロジェクト」および「地区補助金を使用しないクラブの国際奉仕プロジェクト」を実務で指導や支援する。
- ・「グローバル補助金を使用してのプロジェクト」を推進し支援する。

3. ロータリー友情交換・地区間姉妹クラブへの対応

- ・地区同士の姉妹締結や地区内クラブと海外クラブの姉妹関係・友好関係構築に対応する。
- ・地区および地区内クラブへの紹介や手続きを指導する。

4. 国際大会・国際会議への参加の促進

- ・ガバナークラブ担当者を補佐し、大会・会議の資料収集および地区内の参加を促進する。
- ・国際大会および国際会議の推進員を補佐する。

■事業計画

- ・7 月から順次グループ別会議を開催し、活動への参加のお願いと新規事業計画立案への協力を求める。
- ・台湾 3523 地区からの地区交流の依頼があり、実施について検討中。
- ・コロナ禍の収束を待って海外 RC とのプロジェクトを再開に向け地区内クラブとジョイントしていく。

◎社会奉仕委員会部門

城 次年度社会奉仕委員長

1. 2021 年度 RI 会長シェカール・メータ氏からのお願い事項

全てのクラブに、今年度 1 回、実践的かつ行動志向の「ロータリー奉仕デー」のイベントを計画・開催して欲しい。

2. 第 2700 地区の重点目標

地区が一体となった奉仕活動の計画・実施

以上を踏まえて、第 2700 地区の社会奉仕委員会では次の方針を掲げます。

「グループ毎にそれぞれロータリー奉仕デーの企画を 7 つの重点分野をもとに考え、SDGs に沿ったロータリーフォンデーションの活動を実施する。」

◎職業奉仕委員会部門

二村 次年度職業奉仕委員長

第 2700 地区半田裕一委員長（甘木 RC）より、今年度の基本方針・活動計画についての説明がなされた。

次に、ビデオ視聴（3 本）が行なわれた。鑑賞後、皆さんどう思い、どう考えますか？ 検討してください、という内容だった。

1. 言語障害のある父親と反発する娘の親子関係のストーリー。事故で瀕死の娘（10 代後半）を抱えて病院に助けを求める父親。「しゃべることはできない父親だが、愛は完璧に与えられる」

2. 「与えることは、最大のコミュニケーションである」

ある商店で男の子が食品を盗んだ。近くの別の商店の親父が、男の子がぬすんだ商品の建て替えと親父の売っているスープを自分の娘に言ってその男の子に提供した。長い月日が経過し親父が病気になった。治療費の請求が 250 万である。娘は、困った。だが、担当医は、前記の男の子であった。娘には新たな請求書が送られ、請求額は 0 であった。

3. 数人が集まり、ある仕事（職業）について検証していました。何の職業か分かりますか？

- ・報酬 ・・・・なし
- ・勤務時間 ・・・・週 150 時間以上
- ・残業 ・・・・あり
- ・24 時間勤務 ・・・・あり

◎青少年奉仕委員会部門

角南 次年度青少年奉仕委員長

地区委員長である若松中央 RC の山本啓之会員の司会で行われた。

1. 次年度の基本方針

次年度も、従来に引き続き、IAC 委員会・RYLA 青少年育成委員会・国際青少年交換委員会の充実と拡充の支

援・相互の連携強化を図る活動を行う。尚、それまではローターアクト委員会もこの中に入っていたが、ローターアクト委員会は、次年度以降、独立した形になるので、青少年奉仕委員会が束ねるのは、3つの委員会に減った。

2. 具体的な活動方針

- ①青少年奉仕プロジェクトの総括的支援を中心に、
- ②先の3つの委員会の活動に関し、その認知度向上についての活動。
- ③社会奉仕委員会・危機管理委員会、ロータリーフェローズ2700、及び、近年提携することになったJC福岡ブロックや福岡県私学協会等とも提携した活動。

3. 各クラブが行っている青少年奉仕活動の発表

一般的なIAC・ローターアクトクラブとの提携活動報告の他、「ぼっちゃん」という障がい者が行うスポーツの普及を促す活動や、薬物防止イベントの活動などが、紹介された。

4. 各クラブが抱えている問題点や疑問点

「コロナの影響もあってか、IACの活動自体が低迷しており、結果、部員が入らず、あるいは減少して、IAC自体、解散の危機にある高校がある、どうしたら、よいか?」との問題提起があった。但し当日は具体的な議論までは至らず、「指摘された問題点については、地区に報告する」という形で終了した。

5. 当クラブが提携している小倉工業高校は、幸い10名近くは活動部員がおり、他のクラブの提携校のIACよりは、恵まれているとは感じたが、コロナの影響はどこも一緒なので、今後、将来、どうなるのか判らない。特に、目玉であった台湾での海外交流事業が中止になってしまい、IACの部員勧誘活動がしにくくなっている。部員の勧誘は、高校生自体が自主的に行うものだが、提携RCとしては、IACが新入生等に対し、魅力あるクラブ・活動であるという材料を提供することが肝要と思われる。そのためにも、今後も学生さんに対し、月1回の例会では、魅力ある卓話の提供を続ける事や、清掃登山・ギラヴァンツ応援共同例会といった、学生にとっても楽しいイベントを企画・提供することが重要ではないかと感じた。

◎米山記念奨学委員会部門

伊与田 次年度米山記念奨学委員長

まず、安増研修リーダーの簡単な挨拶があり、続いて島信英委員長より米山記念奨学事業の説明と、現況報告があった。討論の形式ではなく、委員長からの説明であり、最後に各クラブへの要望という形で部門別会議は終わった。クラブ会員へ事業をより理解してもらうために、委員長、奨学生、各クラブ委員の卓話を実施して欲しいとの御願いがあった。寄付金を増やす為には、小口寄付を今まで以上に活用して欲しいとの御願いだった。

春の日帰り旅行 報告

日 時：5月15日（日）10時～

場 所：若松

参加者：グエン ズイ ヴアン氏、

杣、佐竹、伊与田、上野、合馬、甲木、
加藤夫妻、城、角南、田中(幸)、豊川、
原田夫妻、平野、鱈見夫妻、松永、松本、宮島、
安田(堅)、八尋、柚須、畠中、安田(裕)

地元北九州の人や文化、土地のエネルギーを体感することで、地域の魅力や取組を再発見するべく、若松地域の観察バスツアーに昼の部23人、夜の部20人で行ってまいりました。当クラブホームページの会員専用ページに写真を掲載していますので、ご覧ください。

【報告者：豊川】



次回例会予告

6月10日（金）普通例会

- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・クラブ協議会No.2（年間活動報告）